

海外渡航のためのワクチン接種スケジュール (2019/9改訂)

だいでうクリニック予防接種センター

	破傷風	A型肝炎	B型肝炎	日本脳炎	狂犬病	ポリオ	腸チフス	髄膜炎菌	ダニ脳炎	黄熱	麻疹風疹 おたふく 水痘	インフル エンザ
北米	○	×	○	×	△	×	×	×	×	×	○	○
中南米	○	◎	○	×	△	×	×	×	×	○	○	○
欧州	○	×	○	×	△	×	×	×	○	×	○	○
東アジア	○	◎	○	○	△	×	△	×	×	×	○	○
南アジア	○	◎	○	○	△	○	○	×	×	×	○	○
中近東	○	◎	○	×	△	△	△	○	×	×	○	○
アフリカ	○	◎	○	×	△	○	○	○	×	○	○	○

ワクチン名	接種スケジュール	有効な期間	病気について
破傷風	基礎免疫のある方: 破傷風 3種混合 TdaP(輸入) 追加 基礎免疫のない方: 破傷風 3種混合 ① 1ヶ月後 ② 6~12ヶ月後 追加	10年有効	土壌中に破傷風菌はいます。深いケガを負ったときに感染する可能性があります。発症してからでは治療法がなかなかないので、発症する前にワクチンで予防します。
A型肝炎	国産ワクチン: ① 2~4週間後 ② 6~12ヶ月後 追加 輸入ワクチン: ① 6~12ヶ月後 ②	5~10年有効 20年有効	食べ物から感染します。発展途上国ではリスクが高いため、生もの(氷やカットフルーツ)にも注意を食べないようにしてください。
B型肝炎	① 1ヶ月後 ② 6~12ヶ月後 追加	10年有効	体液(主に血液)から感染します。近年治りにくいタイプが増えているのでワクチン接種がお勧めです。
日本脳炎	基礎免疫のある方: 追加 1ヶ月後 追加 35歳以上の方は2回目の追加 基礎免疫のない方: ① 1ヶ月後 ② 6~12ヶ月後 追加	5~10年有効	蚊が媒体する感染症の一つです。発症すると治療法がなかなかありません。蚊に刺されないよう長袖長ズボンの着用と防虫剤で予防します。ワクチン接種も有効です。
狂犬病	国内承認ワクチン: 0日 ① 7日 ② 21~28日 ③ 輸入ワクチン: 0日 ① 7日~ ②	免疫記憶を作ります。 噛まれた場合、必ず暴露後接種が必要です。 2019年夏、新しいワクチンが国内で承認されたことを受け、スケジュールが変更になりました。	イヌだけでなく、哺乳類すべてにリスクがあります。動物に噛まれた場合、できるだけ早く医療機関を受診してください。予防接種であっても追加接種が必要です。
ポリオ	不活化ポリオワクチン 追加 1~2ヶ月後 追加		中近東、アフリカの一部への渡航、或いは昭和50~52年生まれの方はポリオの追加接種を受けてください。
腸チフス	輸入ワクチン	渡航の2週間前には接種 2~3年有効	食べ物で感染します。生ものを摂取しないよう気をつけてください。ワクチンで予防することもできます。
髄膜炎菌			中近東、アフリカの一部など流行地への渡航、またはアメリカへの留学などで接種が必要です。
ダニ媒介性脳炎	輸入ワクチン ① 1~3ヶ月後 ② 5~12ヶ月後 追加	3年有効	中央ヨーロッパからロシアに流行がみられます。ダニに刺されることで感染しますので、刺されないよう注意が必要です。ワクチンで予防することができます。
黄熱	検疫所で接種(予約が必要)	接種後10日から 生涯有効	黄熱の危険地域への渡航の場合、接種の証明(イエローカード)が必要です。2016年7月から有効期間が生涯になりました。
麻疹風疹 おたふく 水痘	抗体検査 1週間 陰性のもの接種	約10年	アジアなど流行地への渡航では抗体検査し、陰性の場合には接種をお勧めします。先進国でも流行がみられるため、お勧めします。
インフル エンザ	① 2~4週間後 ② 13歳未	5~6ヶ月	海外で感染すると、大変な思いをされます。時期が合えば接種をお勧めします。